

「沖縄21世紀ビジョン」の最終報告イメージ(案)

平成 21 年 5 月 25 日

沖 縄 県

【とりまとめ方針】

〔記述〕

21 世紀ビジョンは、一般県民が内容を容易に理解し、共有できるよう、可能な限り簡潔な記述とする。

〔構成〕

21 世紀ビジョン本文については、「沖縄 21 世紀ビジョン」構成(案)(〔別添〕参照)を基本に章立てする。

本文の冒頭で〔はじめに〕として、〔21 世紀ビジョンの必要性〕〔21 世紀ビジョンとは何か〕〔21 世紀ビジョンと基本計画等との関係〕等について記述する。

本文策定に当たって分析を行った検討資料及びデータ等については、付属資料として巻末に参考掲載する。

〔ボリューム〕

本文のページ数は、現時点では、概ね 30 ページ程度を想定。

【基本理念】

〔意義〕

県民全体で共有できる価値観を設定する。

〔構成(案)〕

県民全体で共有する価値観を宣言すると同時に、あるべき沖縄の姿を実現するために覚悟が必要である旨を明示

〔記述方針〕

〔めざすべき将来像〕を貫くコンセプトを明示するものとし、外部向けの「宣言性」と、県民向けの「思想性」の両方を兼ね備えたものとする。

何を残し何を变えていくかを明らかにし、県民全体で共有する価値観を設定し、宣言する。

(「宣言性」の付加)

様々な課題に直面しているという厳しい状況を直視した上で、目標の実現に向けて県民全体で取り組む必要があり、あるべき沖縄の姿を実現するためには「覚悟」が必要である旨を明示する。(「思想性」の付加)

【めざすべき将来像】

〔意義〕

県民意見をもとに【めざすべき将来像】を明らかにし、その実現に向けた課題と目標を共有する。

〔構成(案)〕

〔美しい自然と沖縄らしい風景に囲まれた島〕
〔歴史、伝統・文化を尊重する安全・安心な島〕
〔希望と活力にあふれる豊かな島〕
〔世界に開かれた交流と共生の島〕
〔多様な個性と能力が発揮できる島〕

〔記述方針〕

昨年度実施した県民アンケート等の結果をデータベース化し、現在、キーワード毎に整理・分析しているところであり、その結果を踏まえて、【めざすべき将来像】を再設定する。

将来像は、県民が共有すべき目標を言葉で表現したものであることに留意し、簡潔かつイメージしやすいように記述する。

将来像の設定に当たっては、「沖縄らしさ」と「夢」が感じられるものとする。

【時代潮流と課題認識】

〔意義〕

【めざすべき将来像】を実現するため、時代潮流を的確に把握するとともに、徹底した現状分析に基づく課題を設定する。

〔構成(案)〕

残すべきもの	変えていくべきもの
<ul style="list-style-type: none">○ 地域社会が担ってきた共助・共生等の機能○ 安全・安心な暮らし○ 独特の歴史、伝統文化や誇れる県民性、長寿等○ 多様性に富む豊かな自然環境	<ul style="list-style-type: none">● 人口減少局面における経済社会の姿● アジア・太平洋地域との交流による沖縄の発展● 世界規模の課題解決に向けた沖縄の役割● 今後のまちづくりのあり方● 将来の沖縄に必要な人材の育成● 基地返還跡地の有効活用● 2030年の在沖米軍基地の状況● 離島の振興と国境離島を含む広大な海域の位置付け

[記述方針]

時代潮流を踏まえ、21世紀ビジョンの想定年次である2030年に顕在化するであろう課題や、逆に、将来像を実現するために解決を図らなければならない課題について記述する。

[めざすべき将来像]と解決を図るべき課題等との関係を明確にする。

[将来像の実現に向けた取り組みの基本方向]

[意義]

[めざすべき将来像]の実現に向けた方向性を明らかにすることで、計画的な取り組みにつなげる。

[構成(案)]

- 地域の人材の有効活用や住民の協働による地域づくりを通して世代間の交流を深め、コミュニティの再生を図る。
 - 社会保障、保健医療システム等の再設計により保健・医療・福祉の充実を図る。
 - 歴史・伝統文化等を守るための仕組みと併せ、世界に発信する仕掛けを構築する。
 - ゾーニングやキャリングキャパシティ、保全のためのルール等を含め、先進的な環境共生・循環型社会モデルを構築する。
 - 物質的な豊かさに代わる指標として生活の質や福祉の充実度等を含め、県民の幸福度を測る指標を検討する。
 - 沖縄の優位性を発揮できる分野への積極的な参入や地理的特性を活用し、科学技術の振興と新産業の創出等を図る。
 - アジア・太平洋地域との交流ネットワークを構築し、世界規模の課題解決に向けた国際貢献・協力拠点等の形成を図る。
 - 快適性や安全性などの観点も含め、時間とともに価値が高まるようなまちづくりを進める。
 - 人材育成の方向性を明らかにし、語学に力点を置いた教育システムの構築や沖縄らしい個性を持った人間の形成を図る。
 - 基地返還跡地を、アジアの経済発展及びグローバル化に対応した産業振興や居住空間の確保等に活用する。
 - 将来的には基地のない沖縄を目指す。2030年時点では、現在合意されている基地が返還されていることを想定。
 - 排他的経済水域の確保や豊富な海洋資源の存在など日本の国益を担う地域として、国が対応すべき内容等を検討する。
- ◎ 県土構造の再編を視野に入れ、総合交通体系及び情報通信体系等の基盤整備を進める。

[記述方針]

基本方向の取りまとめに当たっては、県民意見のほか、沖縄県振興審議会や同総合部会等の提言、県の各部局が推進する将来構想や各種調査結果等も反映させる。

基本方向には、国益に資する観点から、国が支援・協力すべき内容等も戦略的に盛り込む。

21世紀ビジョンは基本構想であることから、将来像の実現に向けた取り組みの基本方向までを記述するものとし、具体的な施策・事業等については、21世紀ビジョンの実現に向けて策定する基本計画において記述する。

21世紀ビジョンでは「目標値」の設定は行わない。

ただし、基本計画においては、10年後の経済社会の姿として、数値目標を設定する。

基本方向では、大規模な基地返還跡地を含む県土構造の再編を視野に入れつつ、軌道系交通機関の導入を含む「総合交通体系の整備」の方向性について記述する。また、「情報通信体系の整備」では、離島医療や教育など島しょ地域の遠隔性を克服する方向性等についても記述する。

(本文はここまで)

(巻末参考)

「沖縄 21 世紀ビジョン検討案」、「沖縄 21 世紀ビジョン関連統計資料」等

(「21 世紀ビジョン」策定プロセス)

県民意見や議論等の結果をとりまとめる。

県民アンケートの実施、特設 WEB サイトの設置、

高校生作文・学生小論文コンクールの実施、地域フォーラム・シンポジウムの開催

県内市町村長・議会議長アンケートの実施、県内全市町村との意見交換会 etc

「沖縄21世紀ビジョン」構成(案)と新たな計画等の体系

